京都市の「学校評価システム」

学校が、教育目標の実現を確かなものとしていくために、学校教育活動の成果と改善すべき課題を明らかにし、その充実・向上を目指して取り組むものです。

具体的には、学校の教職員自らが行う「自己評価」と保護者や地域の方などによる「外部評価」の二つを関連させながら組織的・計画的・継続的に評価を行い、子どもにとってのよりよい学びの環境を実現させようというものです。

Plan（計画）

学校教育目標

保護者の願い　　地域の願い

「育てたい子ども像」の共有

Do（実践）

具体的な教育活動

学習指導（教科の時間や総合的な学習
生徒指導）
特色ある取組
校内の組織や研究・研修のあり方
家庭・地域との連携　　など

授業や行事の参観
説明会・懇談会への参加

授業や行事の参観
地域行事等での連携

外部評価　　外部評価

Check（点検）　**自己評価**

成果や課題の共有

達成できたもの。できなかったもの。
（原因・理由）

成果や課題の共有

Action（見直し）

家庭の役割を確認

教育目標や実践の見直し、
充実・向上につなげる

地域の役割を確認

課題意識を共有する→行動を共有する→評価を共有する→成果を共有する

学校・家庭・地域の結びつきを強め、みんなでつくる、「開かれた学校」